

感染拡大防止のためのお願い

夏休みやお盆休みなどの大型連休は帰省や外出、大人数が集まる機会が増加することにより、新型コロナウイルス感染症が全国的・急速にまん延する恐れがあります。県内の新規感染者数は減少傾向にありますが、ここで気を緩めることなく、引き続き「身体的距離の確保やマスクの着用」「手洗い・手指消毒」など基本的な感染拡大防止対策を徹底しましょう。

図健康増進課（☎ 71-1814）

◆感染リスクが高まる「5つの場面」

次の場面には、特に注意しましょう。

【場面①】 飲酒を伴う懇親会等 ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下します。聴覚がにぶくなり、大きな声になりやすいので注意しましょう。 ・敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まります。 ・回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高めます。	●換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店を選ぶ。 ●飲酒する場合 ①少人数・短時間で。 ②なるべく普段一緒にいる人と。 ③深酒・はしご酒などは控え、適度な量で。 ●箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。 ●体調が悪い人は参加しない。 
【場面②】 大人数や長時間におよぶ飲食 ・長時間におよぶ飲食、深夜のはしご酒は短時間の食事に比べて、感染リスクが高まります。 ・大人数（例えば5人以上）の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなります。	●換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店を選ぶ。 ●飲酒する場合 ①少人数・短時間で。 ②なるべく普段一緒にいる人と。 ③深酒・はしご酒などは控え、適度な量で。 ●箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。 ●体調が悪い人は参加しない。
【場面③】 マスクなしでの会話 ・マスクなしに近距離で会話すると、飛沫感染等での感染リスクが高まります。 ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。	●席の配置は斜め向かいに座り、正面や真横はなるべく避ける。 ●会話するときは、なるべくマスク着用。 
【場面④】 狭い空間での共同生活 ・狭い空間での共同生活は長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まります。 ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されています。	●共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底。 
【場面⑤】 居場所の切り替わり ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる場合があります。	●休憩室、喫煙所や更衣室など利用するときは、意識して感染対策に努める。 

■山陽小野田市ワクチン接種コールセンター

ワクチン接種に関する質問を受け付けます。副反応や有効性・安全性など医療関連の相談は、山口県ワクチン接種専門相談センター（☎ 083-902-2277、毎日 24 時間対応）へ。☎ 0570-050-062【平日 8:30 ～ 17:15】

■山口県受診相談センター

感染症に関する症状や感染予防、検査方法等について、専従スタッフによる助言や情報提供が受けられます。
7700（IP 電話、ひかり電話など ☎ 083-902-2510）【毎日 24 時間対応】

■市の健康相談窓口 感染予防・健康に関する相談・ワクチンに関する相談等について、受け付けています。

●健康増進課 ☎ 71-1814 FAX 39-5624【平日 8:30 ～ 17:15】